

アートを通じた地域との関わり

芸術作品を生み出すアーティストとそれを受けとる観客との間を“つなぐ”ことがアーツマネジメント（Arts Management）の重要な役割です。今回の特別講義では埼玉県朝霞市で若い芸術家に制作の場を提供し続けている「丸沼芸術の森」代表の須崎勝茂（すさき・かつしげ）先生をゲストにお招きして、丸沼芸術の森が誕生するまでのお話や現在のご活動、今後のビジョンについて、地域との関わりからお話いただきます。

学生の皆さん・教職員の皆さまはどなたでもご参加いただけます。申込不要ですので、当日直接教室にお越しください。

講師：須崎 勝茂 先生

（株式会社丸沼倉庫代表取締役社長、「丸沼芸術の森」代表）

日程：2023年12月18日（月）15:40～17:25

会場：文京キャンパス M2304教室（2号館3階）

対象：「アーツマネジメント」受講生、および受講生以外の本学学生、教職員

【講師プロフィール】

1951年 埼玉県朝霞市生まれ

1969年 日本大学 経済学部 入学

1985年 丸沼芸術の森 主宰

2014年 紺綬褒章受章

2023年 第66回埼玉文化賞 社会文化部門受賞

制作場所に苦慮する若手芸術家を支援するため、所有する土地に「丸沼芸術の森」を開設。これまでアトリエで制作活動を行った芸術家は40名を超え、世界的に活躍している現代アートの巨匠・村上隆はこのアトリエを拠点に約20年間制作活動を行った。海外の作家が滞在して制作発表活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」や、地元の博物館と連携し所蔵作品を市民に無料公開し、地域の芸術文化振興に取り組む。

